



日本遺産「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道」

小浜西組
町並み協議会

町並み通信



発行責任者：澤口 輝禪（浅間1 TEL.53-2327）2016 春号（vol.139）

小浜西組町並み協議会 27年度 第3回役員会報告

日 時：平成28年2月16日（火）（19：30～）

場 所：小浜西組町並み保存資料館（小浜市鹿島）

出席者：中島、佐野、大島、大田、新谷、桂田、石野、（市役所）東野、中田、野瀬、（敬称略）

開会宣言 事務局

会長挨拶（会長欠席につき、副会長代行）

皆様、本日は突然の雪にも関わらず、ご出席下さいましてありがとうございます。本日、会長、体調不良のため、私が代理で進めさせていただきます。本当はもう少し早く役員会を開催したかったのですが、今になりましたこと、お詫びいたします。

西組のエリアを少々離れますが、まちの駅、旭座の整備が進んでおります。5月にオープンと伺っております。これからこの西組も観光客が増えて参ります。今後、今まで以上に会議も増えるかと思っております。本日は、慎重審議、よろしくお願ひいたします。

小浜市より報告、依頼事項

東野課長挨拶：

皆様、本日は思いがけない雪になりました。いつも文化行政にご協力いただきましてありがとうございます。今回は、この資料館、急な移転にご協力下さって、ありがとうございます。

先ほども副会長様のご挨拶にありましたが、まちの駅の整備が進んできております。3月末完成の予定でしたが、諸般の事情等もありまして、4月中頃に完成の予定となっております。オープンは5月1日とさせていただきます。5月1日から5月8日のゴールデンウィークをオープニングウィークとし、文化協会などとも連携しながら盛り上げていきたいと思っております。宣伝も結構させていただきますので、観光客が多数お見えになると思っております。

道の駅、海の駅、まちの駅の三駅構想ということで、三駅をつなぐバスを走らせます。そのルートの中で西組にはポケットパークのあたりに停留所を作る予定です。オープニングウィークに、町並み保存資料館でも何かイベントをしてくれるとありがたいと思っております。

皆さんから強い要望をいただいている西組の街路整備については、6月くらいから三丁町の工事に着手する予定です。約9ヶ月を予定しております。海側から順次整備を進め、一方通行を暫定的に解除し、進めて参ります。電線の地下埋設について、消火栓の位置や、関電、CATVの施設を設置する必要がありますので、地権者の皆さんにご協力をいただきたいと思います。その際は、協議会や、区長さんにもご尽力下さいますよう、お願ひいたします。

（重伝建補助事業について）野瀬主査より

平成28年度は、全て飛鳥区で4件実施されます。修理2件、修景2件で、うち1件が新築修景です。平成29年度の重伝建補助事業の申込については、3月末で締切としており、現在のところ、3件の希望が見込まれています。

（旧小浜小学校跡地の国史跡追加について）中田主査より

文化庁との協議を踏まえ、12月に史跡追加の申請を行いました。平成28年5月に國の審議会に諮問し、6月に決定されることとなります。追加後、現在の後瀬山城趾の保存管理計画の一部を改訂し、

地元の方も参画していただく整備委員会を立ち上げて、整備内容を協議する予定です。

協議事項協議事項

(1) 西組街路整備追加要望について

澤口会長案について、協議した。(以下会長案抜粋)

①白鳥区・貴船区の通りの街路整備について

当丹後街道に準ずる基幹道路であり、通りには、白鳥会館、極楽寺など重要な建物もあります。第1次整備では残念ながら、整備対象から外れましたが、次の機会にぜひ整備していただく要望いたします。

②以前より住民の要望が一番強い丹後街道、貴船・白鳥街道の融雪装置についても、是非検討していただきたくお願い申し上げます。

③後瀬山周辺の活性化について

市は、旧小浜小学校跡地を、すでに国の史跡指定を受けている後瀬山城跡に追加指定を目指しておりますが、市の担当者の説明を聞いても、史跡そのものが少なく、礎石が点在する程度のように見受けられます。これでは、住民にとって誇れる存在でもなく、また、観光客をひきつける力もないであります。そこで、何らかの付加的要素を加えるべきではないでしょうか。

*例えば、後瀬山の中腹に「後瀬山城跡」の大看板を立て、町中から遠望できるようにする。

*また、後瀬山には、縦堀、横堀がたくさん掘られていて、中世の山城の特徴を顕著に備えているが、下から遠望しただけではわかりません。そこで、後瀬山の大型模型を作って展示してはいかがでしょうか。

*有名な万葉集に後瀬山に関する歌があることを知らせるべきであります。

「かにかくに 人は言ふとも 若狭路の 後瀬の山の 後も逢はむ君」(坂上大嬢)

「後瀬山 後も逢はむと 思へこそ 死ぬべきものを 今日までも生きれ」(大伴家持)

*平成12年に策定された「史跡後瀬山城跡保存管理計画書」中、101～102ページに掲載されている「愛宕神社～頂上、常高寺～頂上、神明社～頂上」の3つの散策ルートの開発を速やかに行き散策ルートとして整備していただきたい。

*さらに長期的事業になりますが、後瀬山の小学校に面した部分にもみじの木を植えてもらいたい。

夕日に生える後瀬山の紅葉は、素晴らしいものとなるであります。(以上抜粋)

上記原案について、①、②は無論含めていくべきとの意見でほぼ一致しました。③については、史跡ということで、できることとできないことがあるので、文化課とも協議しながら進めていきます。追加として、小浜小学校跡地は「活用も含めた整備をしてほしい」とすることになりました。まち歩きの看板を市役所に要望することにいたしました。

(2) 平成27年度事業報告について

(3) 平成28年度事業計画について

(4) 各委員会報告

■活性化委員会(佐野委員長)

本年度は、フェスタと中田さんの花嫁行列を協議会として行いました。フェスタは来年度もやっていきたいと思っております。その他に旭座ができるので、オープニングの時に八幡神社の参道で何かやりたいと思っております。

■環境整備委員会(中島委員長)

当委員会は、毎年メンバーが入れ替わるので参加意識の醸成が必要です。苦勞しております。次年度は、防災、案内看板について、修理などを行って参ります。

■資料館運営委員会(石野委員長)

新しい資料館になって、恒例の雛人形展をやりたいのですが、新資料館は狭いため、この役員会が終わったら飾ろうと考えています。また、展示コーナーに放生祭の写真を体裁よく飾りたいと思っております。文化課のみなさんよろしくお願ひします。

■広報委員会(石野委員長)

『町並み月報』が『町並み通信』になって、頻度も減ったのでずいぶん楽になりました。内容を充実させていきたいと思っております。

■建築委員会(大島委員長)

補助事業の数を増やすことも建築委員会の大切な責務と考えております。来年もがんばって参ります。

■佐野委員長

三国の方へ視察研修を計画いたします。中田さんの義父の方が中心人物となっており、法人登録をして指定管理など精力的に活動されておられます。勉強になることがたくさんあると思いますので、年度末ではありますが、皆さんで寄せていただこうと思います。できるだけたくさんのご参加をよろしくお願いいたします。日程、時間などは追って連絡させていただきます。

(5) その他

空家対策として以前からご相談を受けていた香取の野田邸につきまして、解体の危機にありましたが、結局佐野委員長が取得して29年度の修理事業に乗せる予定で動いています。エリアイノベーションの一環として、三丁町の下前邸を市が取得することになりました。逢嶋楼の前ということもあり、利用形態などいい方法があればご提案下さい。なお、下前邸は、持ち主様のご希望で、小浜市以外には譲渡する気持ちはないとのことでしたので、市が取得することになりました。併せてご報告いたします。

閉会宣言 石野副会長



まちづくり先進地視察

坂井市三国町「三国會所」を訪ねて

小浜西組地域活性化委員長 佐野 達也



平成28年3月12日、春の快晴の中、小浜公園を朝9時に視察団21名は中型バスに乗り、まちづくりの先進地「三国會所」へ向け出発しました。

大島建築委員長は「三国會所はまちづくりに非常に積極的に取り組んでおります。西組も街路整備が始まり、いよいよ活性化に向けて本気で活動していかなければなりません。この視察で空家の活用や活動の取り組み、そして三国會所の運営について学び、我々の今後の参考にしていきたい、有意義な時間にいたしましょう」と挨拶しました。

午前11時、フレンチレストラン「サミュゼ」様に到着。まずは早めの昼食をとりました。目の前に日本海の水平線が広がり景色も天気も最高です。出てくる料理は噂のお店だけあって、盛付けも美しく味も最高でした。

食事の後は、三国の歴史資料館「りゅうしょうかん龍翔館」へ向かいました。施設の事や三国町の歴史と発展を係の方から説明して頂き、集合時間まで各々管内を散策しましたが、三国まつりの山車の大きさに驚きました。

「龍翔館」を後に本日の目的地「三国會所」に移動すると、大和理事長と中田専務理事が出迎えて下さいました。

早速、資料館の奥にある広間にて「三国會所」の現在に至るまでのご苦労や、取り組みなどをお話いただきました。国から地方創生予算を1億4000万円100%補助を受け、町の活性化を図るために空家等を修理修景しショップや宿泊所を建て、それらを現在は一般社団法人「三国會所」として坂井市から施設の管理を数件受託し、組織の運営をしているそうです。管理者が常駐しているので、「三国會所」を拠点にまちづくり事業を精力的に進めておられました。それぞれの施設で管理が行き届いるなと感じました。

私たちが訪問した日は1週間後に公園とミニ資料館がオープンを控えているという時で忙しい中にもかかわらず、丁寧な説明して頂き、我々としてはとても勉強にな



りました。

最後に、お忙しい中ご参加頂きました皆様に感謝とお礼を心から申し上げ、今回の先進地視察の報告とさせていただきます。



小浜西組町並み協議会からのお知らせ

平成 28 年 1 月 16 日 (土) 町並み保存資料館移転オープン

平成 9 年から小浜市が町並み保存の町家のモデルとして一般公開していた『町並み保存資料館』が、今年から道路を挟んだ真向かいの建物に移転しました。

移転オープンした建物は大正期に建てられており、京都風の町家です。軒下には犬矢来、オダレがあり、建物に入るとソトゲンカンとウチゲンカンが設けられています。オモテノマ、ナカノマ、オクノマの 3 つの部屋に加え、ツギノマを含んだ 4 つの部屋で構成され、小浜の町家の典型的な造りとなっています。中庭まで建築当初のままの土間が続き、カマド、水場、煙出し、番傘立て、提灯箱などが残っており当時の生活を想像することができます。

新たな町並み保存資料館オープンの日には市・文化課の方、資料館管理人当番さん、若狭の語り部の会の方、報道関係者が駆けつけて下さり、賑やかな開館初日となりました。

市内外の多くの方にご来館いただき、地域住民の交流の場となり、観光客の休憩所として活用しながら、小浜西組を知っていただけたら幸いです。



町並み保存資料館の 4 月から 11 月までの開館時間

午前 9 時～午後 5 時まで (火曜日休館日)

五月人形展開催

期間 平成 28 年 4 月 23 日 (土)～5 月 21 日 (土)

場所 町並み保存資料館

小浜西組の URL <http://obama-nishigumi.sakura.ne.jp/>

小浜西組

検索